

交通安全対策

交通事故を防ごう・巻き込まれないようにしましょう！



こんなところに気を付けよう！

check!

- 道路を横断するときは、必ず左右の安全確認を行い、飛び出しや無理な横断はしないようにしましょう。
- 青信号で道路を横断するときも、車の動きなど必ず周囲の安全を確認してから横断しましょう。
- 信号待ちのときは、車道から離れた歩道の端など、より安全な場所で待つようにしましょう。
- 自転車に乗るときは、ヘルメットを着用し、交通ルールを守って運転しましょう。
- 自転車は車両です。歩道を走行する場合は、歩行者を優先しましょう。



交通安全

みどり市立笠懸中学校の「自転車の交通安全教室」をレポート

群馬県では、本田技研工業株式会社作成した「自転車交通安全教育プログラム」を活用して、体験型の交通安全教室を実施しています。



1時間目：座学

「法律違反になる行為」や「加害者になるとどうなるか」など具体的な事例を見ながら、自転車に乗るときのルールやマナーを学びました。

子どもが自転車運転中に加害者になって、5千万円の賠償金を請求されることがあったと聞いて、驚きました。



生徒

2時間目：実技

① 8の字走行

状況を判断し、相手を思いやって運転する大切さを学びます。



1人ずつコースに合流し、8の字に引かれた白線に沿って走行。途中で足を着いたり、他の人と接触したりしないように注意し、交差点では譲り合って運転しました。

② 反応・回避

スピード走行や片手走行では急な運転操作が難しいことを学びます。



先生に向かって「スピード走行」や「片手走行」で運転。人や車を意味する「赤い旗」を先生が急に上げるので、衝突しないように回避行動を取りました。



生徒

交差点で他の人とぶつからないようにするのが難しかったです。道路には自分だけではなく、いろいろな人がいるので、これからはもっと周りの様子を見るようにしたいです。



生徒

片手で走行をしたときには、反応が遅くなってしまいました。スピードを出したときも、先生にぶつかりそうで危なかったです。自分が加害者にならないように気を付けて運転したいです。

自転車コラム



命を守るヘルメット

自転車運転中の交通事故で亡くなった人の6割以上が頭部に致命傷を負っています。交通事故の被害を軽減するためには、ヘルメットで頭部を守ることがとても大切です。

自転車運転中のヘルメット着用状況別の致死率（平成21～30年の合計）



自転車保険に加入しましょう

自転車運転中に事故を起こしてしまった場合、自分がけがをするだけでなく、相手にけがをさせたり、相手の物を壊してしまったりすることがあります。加害者となった場合、自転車であっても数千万円単位の多額の損害賠償を求められるケースがあります。

TSマークや自動車保険などに付帯されているもの、月数百円単位で加入できるものも増えていますので、加入状況を確認してみましょう。

事件・事故に巻き込まれないために、
登下校中の安全対策について、改めてご家庭で話し合ってみませんか？